

苫小牧市の水道水における放射性物質の検査結果について

苫小牧市では、安全・安心な水道水の供給を確保するため、水道水(原水・浄水)の放射性物質の測定を実施いたしました。結果につきましては、高丘浄水場・錦多峰浄水場とも放射性物質は検出されませんでした。このことから、苫小牧市の水道水は安全で安心してご利用いただけます。

単位:Bq(ベクレル)/L

採水日	施設名	採水場所	放射性ヨウ素	放射性セシウム	
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
平成24年 5月14日	高丘	勇振取水場(原水)	不検出	不検出	不検出
平成24年 5月14日	高丘	幌内取水場(原水)	不検出	不検出	不検出
平成24年 5月14日	高丘	高丘配水池(浄水)	不検出	不検出	不検出
平成24年 5月14日	錦多峰	錦多峰取水場(原水)	不検出	不検出	不検出
平成24年 5月14日	錦多峰	錦多峰配水池(浄水)	不検出	不検出	不検出

※測定方法:ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマー線スペクトロメトリーによる核種分析法。

※検出限界値は、0.4Bq(ベクレル)/L (Bq/LとBq/kgは同等)

※不検出とは、測定機器が検出できる最小の値0.4Bq(ベクレル)/L未満であることを示す。

※測定機関:一般財団法人 北海道薬剤師会公衆衛生検査センター。(水道法第20条:登録検査機関)

厚生労働省の「水道水中の放射性物質に係る管理目標値の設定等について」では、放射性セシウム(セシウム134及び137の合計)が10Bq(ベクレル)/kgとなっています。また、放射性ヨウ素は、半減期が短く現時点では検出されていないことから、新たな目標値は設定されていません。

今後につきましては、苫小牧市及び北海道が実施している「空間放射線量率」の測定結果を注視しながら対応をしていきます。